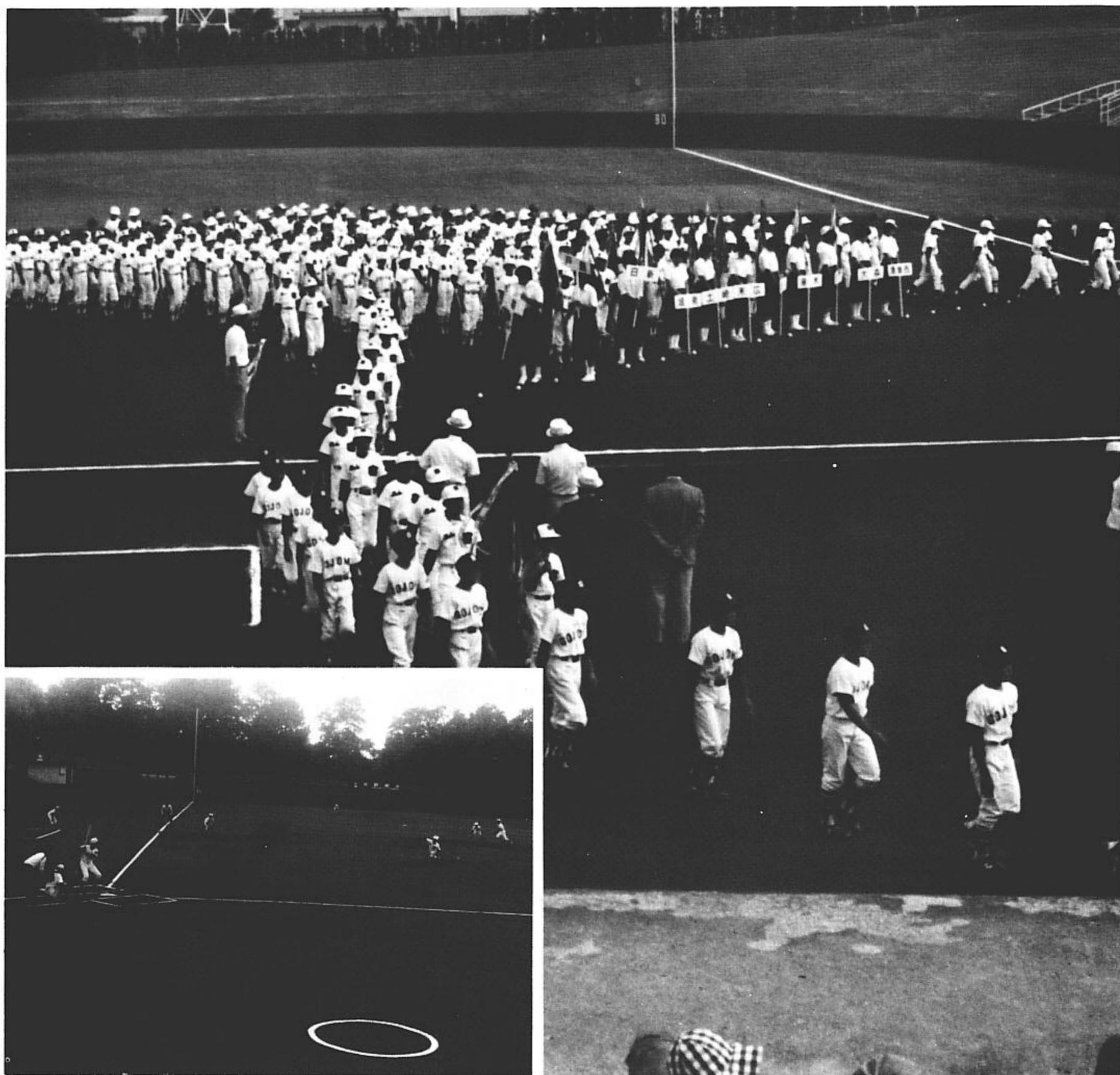


東由利町報

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

号外 昭和55年8月20日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行



《宿小学校野球——秋田県大会出場4強に躍進》

8月1日号町報で詳しくお知らせしましたとおり、宿小学校が郡市小学校野球大会において輝く二度目の優勝を果たしました。

去る8月14日から秋田市八橋球場で開かれました第11回秋田県小学校クラブ野球大会に晴れの郡市代表として出場しました。全県各郡市代表の中に混ってよく健闘し、第1回戦で強豪五城目小を3対1で、更に第2回戦では秋田市きっての名門日新小を8対3の大差で降し、堂々全県4強入りを果たしました。準決勝では惜しくも伏兵荒川小に敗れました。本号は宿小野球特集号です。

宿小学校野球特集号

号外 (8/20)

この夏の大きなよろこび

町長 小松栄男

宿小の野球クラブが県大会の準決勝まで勝ち進んだことは全く素晴らしい出来事でした。第一回戦の朗報の後、

準々決勝は日新小と聞き、日新小となら果してどうなるか勝てるだろうかという感じが一瞬走りました。翌日(八月十五日)の成人式も終りに近くなつた頃、八対三で勝つたと連絡が入り、良かったと思

う気持ちと内心本当かという気がしました。というのは日新小といえ少年野球の草分けであり、秋田県きつての名門校であります。しかし、実際に勝つたのです。翌日、準決勝の応援に行きました。

グラウンドの生徒が何と大きく見えたことでしょう。又、野球を良く知っていました。テレビの解説者は、小学校野球は野球教育でなく、教育野

球であつて欲しいと言っていました。全く学校教育の中にある野球という感じを強く受けました。

宿小が、又東田利の名が、県下に知られたことがこの夏の大きなよろこびでした。

野球部の健闘を讃えて

教育長 進藤 新

昭和五十一年に続いて二度目の全県大会出場権を得たが鶴舞小との決勝戦はテレビで放送してもらいたい程の好試合であつた。宿小が先行すれ

大会おわつた選手諸君に望む

学校長 齋藤 治三郎

野球ではよく流れといふことばがつかわれます。流れにのつたという感じが郡市大会優勝、県大会四強入りをはたした選手諸君、ご苦労さまでした。このたび町長さんの特別のはからいにより、宿小野球部の歩みを集号にだすことになりましたが本当にあり

がたいことだと思ひます。毎日の練習はつらかつたと思ひますが大役を果たした今は充実感でいっぱいだろうと思ひます。選手諸君に望みたいことはこのたびの成果のかけにはたくさんの方々からの激励、協力支援があつたことに思いをはせていただきたいと

いうことです。又印象のうすれないうちに自分の歩んできた野球生活に反省をくわえていただきたいということです。そしてあすからの学習に自分の伸びる可能性を信じて前進を自分の心にはつきりいきかせてほしいと希望します。

宿小二度目の快挙成る

第一回戦 七月十三日

於 北中グラウンド

亀田 000 0
宿 52X 7

(三回コールド)

第二回戦 七月十三日

於 北中グラウンド

老方 00000 0
宿 02000 2

準々決勝 七月十四日

於 水林球場

小出 00000 0
宿 11431X 19

(五回コールド)

準決勝 七月十六日

於 新山小グラウンド

松ヶ崎 00000000 0
宿 20100000 3

郡市野球大会で
鶴舞小を下し
優勝



ご協力、応援に感謝

宿小野球後援会長 石綿国雄

この度の全県大会出場にあたり、宿地区始め、町内外の皆さんには、物心両面にわたる、多大なる御協力をいただきました。且つ多忙の中を早朝より応援にかけつけて下さいました。心から厚くお礼を申し上げます。郡市大会を勝ちぬぎ、全県大会ベスト四入

りが出来ましたのは、大日向コーチ始め先生方の春からの熱情あふれるキメ細かいご指導と、町当局、秋田宿会、地元、学校一体となつての強力な結束と暖かい応援の結果と、本当に感謝にたえません。子供達が野球を通して得たものが、良い方面に活かされる事が皆様方のご協力に対するご恩返しの一つと身をひきしめている次第です。

決勝 七月十六日 於 新山小グラウンド
鶴舞 020002100 5
宿 201002000 5

(延長九回抽選で宿の優勝)

決勝戦にふさわしい試合であつた。宿小が終始押し気味であつたが決定打がなくとうとう延長九回までとなつた。しかし勝負がつかず選手九人による抽選となつた。その結果六対三で宿小の優勝が決定した。

七月十三日から十六日までどの試合を見てもけつして楽な試合展開ではなかつた。スコアだけ見ると楽に見える。しかし野球のセオリーから言え、やはり得点の入るべきところで入らず、エラーが出た。第一戦の亀田戦では初回に大量点が入りまずまずの試合が出来たようだ。

第二戦は好投手を擁する老方戦は、辛勝であつた。県大会の荒川戦を除き得点三未



満の試合はこれが唯一の試合であることからも町内の今年の野球レベルが高かつた事が察せられると思う。第三戦 小出戦では初回硬軟おり混ぜての大量得点が功を奏し毎回得点で快勝することが出来た。準決勝、松ヶ崎小戦では五回得点機にコールド勝をねらい勝負に出たが、強行策が裏目に出て、結局無得点に終つた。決勝戦の鶴舞小戦は、投手石綿が連投で疲れが出、相手打線につかまり初の失点をあたえたが、味方の守備陣の援護で切り抜ける事が出来た。

ベスト4

準々決勝 強豪日新小(秋田市代表) を敗る

第十一回秋田県小学校クラブ野球大会の開会式が八月十日午前八時三十分より市営八橋球場で行なわれ、県大会代表十六チームの入場行進があり、宿小クラブは開会式後

の第一試合で五城目小クラブと対戦、好打、好走で相手の守備の乱れに乘じ、三十一で強打の五城目を下し、見事準々決勝に駒を進めた。



第一回戦 8月14日

五城目	0001000	1
宿小	0200001	3

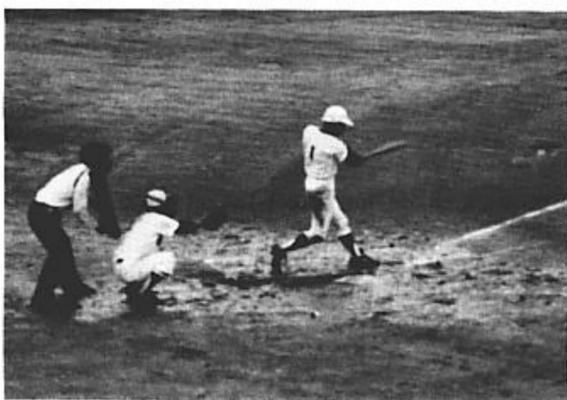
一回表、宿小石綿投手は連続三振と好スタート。二回裏、石綿がヒットで出塁し二盗に成功、続く阿部がレフトに二塁打しまず先取点。八番小松の振り逃げでこの回二点。四回に一点を許したものの投手石綿は得意の速球で五城目打線を無難に抑える好投。六回裏、宿は小野が三塁打、佐藤の三塁ゴロでホームへつぐがアウト。五番石綿が中堅越三塁打した後、阿部の内野安打で石綿が再び貴重な追加点。最終回、五城目は三者凡退で宿小初戦を飾る。



準々決勝 8月15日

日新小	1010000	1
宿小	0201005	8

一回表、日新小は連続四球エラー等で一点。しかし宿小も二回、死球2四球で満塁とし、押し出しとエラーで逆転。三回表、日新は佐々木が四球後、四番佐藤が三塁打して同点。その裏、宿は二死後、畑山がヒットで出塁、二盗後小野がセンター前ヒットで再びリード。その後押し気味に試合を進め六回裏には佐々木がエラーで出塁、続く小松がヒット。畑山の犠打で進塁後、小野の二球目が暴投となりまず一点。スクイズで二点。四番佐藤がヒット。走者二三塁で阿部がヒットし一点、猪股も走者二人を返しこの回五点名門日新を突き放し試合を決定づけた。制球難に苦しむ石綿は要所をピシヤリと抑え日新の反撃を許さなかった。



準決勝 8月16日

荒川小	1001201	5
宿小	0000000	0



一回表、荒川は宿の守備の乱れをつき、一三塁後、四番進藤のセンター前ヒットで一点。宿は毎回ランナーが塁に出るが投手佐藤のゆるい球にタイミングが合わず無得点。荒川は四回には押し出しで一点取り、五回にも動揺する内野のエラーで勞せずして二点をあげ、七回にも追加点を取り、佐藤投手を援護。宿小はライナーを連発するが荒川の好守にはばまれいよいよ最終回。石綿が右中間三塁打で出塁。しかし阿部は浅いセンターフライ。猪股のピッチャーゴロでランナー飛び出しタッチアウト。二死後、ねばる宿は代打高橋が四球を選び一二塁。九番佐々木の当りはライト前と思われたがセカンドのファインプレーでゲームセット。

母校球児を讃える

秋田宿会 畑山清作

ある野球解説者は「試合に勝敗はつきもの、全力を出したチームには、深い感動をもって心から拍手をおくる」と言っております。

対荒川小との試合後市内の某野球通から「日新小の優勝予想校を破つての激突だから、二点の争いと予想していた。好試合であったし事実上の決戦であったと思う」との最高の評価を受けた事をお伝えしたい。

ともあれ憧れの八橋球場で名門古豪を破り、ヤド小ならぬ宿小旋風を巻き起し、四強に名を連ね、宿小の存在と東由利町の名を県民に再認識させた球児の功績を心から賞讃したい。

大会副委員長 成田晴三

(前東由利中野球部監督)

全県小学校野球大会ベスト

四入り、実に快挙と言わずして何んと言えましよう。石綿投手の制球の良い快速球、これからの成長が楽しみです。小規模校のハンデをチームワークではね返した地域、学校父母のまさに「全員野球」でした。宿小の健闘は小学校野球史に燦然と輝くものでしょう。これからも基本に忠実に練習し、ふたたびチャレンジして下さい。本当によくガンバリました。



白球に燃えた16選手

小松 優 6年 二塁手

この県大会で、勝負のきびしさと一人の力では勝てないことを知った。九人の協力です。ここまで来れたと思う。

石綿伸朗 6年 投手

県大会での試合は、本当に悔いの残らない試合でした。このファイトをいかし、中学校でもがんばりたいです。

小野 勤 6年 捕手

東由利町報号外

昭和五十五年(一九八〇)八月二〇日発行

残らない試合ができた。でも八橋球場で、試合が出来たのは本当に夢のようだ。

畑山敏則 6年 遊撃手

県大会準決勝は少しいが、残る試合だった。もう少しエラーなどを少なくしてピッチャーに楽をさせたかったと思う。

佐々木精人 6年 左翼手

県大会に出場したことは、ぼくにとって夢のようだ。荒川小に負けた時は本当にくやしかった。

佐藤敏也 6年 中堅手

県大会では優勝できなかったが、みんなよくがんばったと思う。日新小との試合が一番印象深いです。

高橋忠広 6年

郡大会でやっと勝ちぬいて県大会へ進むことができたうれしかった。おしくも負けました。がんばりました。

小松 明 5年 右翼手

ぼくは、県大会にでて、とてもよかったです。いままでも勝ったのもみんなのおかげです。すごうれいいます。

佐々木直哉 5年

ぼくは補欠でしたが、県大会に出場できただけでうれしかった。負けましたがいい試合だったと思う。

阿部 勉 5年

ぼくは、県大会にでられたのでとてもうれしかった。準決勝で負けてしまいましたが、いい試合でした。

小松哲也 5年

昭和四十二年七月十八日第三種郵便物認可

発行 秋田県東由利町役場

毎月一日発行

印刷 K K本間印刷所

ぼくは、県大会でベスト4まで行けてうれしい。来年はぼくたちが選手になるので、がんばりたい。

大庭弘威 5年

ぼくは県大会に出れてうれしかった。準決勝で負けた時は本当にくやしかったです。

伊東幸博 5年

ぼくは県大会に出場できてとてもうれしい。準決勝で負けてしまったけど来年は、がんばりたいと思う。

佐々木善政 5年

ぼくは野球はあまり得意ではないですが好きです。県大会はいい思い出になりました。来年はがんばりたいです。

部 長 畑中 亮

影武者の活躍が勝利を呼んだ戦いでした。PTA、地域、学校の応援、宿会の協力。それは選手に数十倍の勇気を与えてくれました。鍛える側と鍛えられる側の強い信頼があつてこそ「勝利」だと信じます。

監 督 小野永喜

今までの試合を振り返って見て、選手個々の力は他校と比較して決して優れてはいなかった。それが試合になると考えられない様なふしぎな力を出すのです。それは即席で出来たものではなく、長年にわたって、野球だけではなく他のスポーツは勿論、家庭、学校での毎日の生活から出来上ったものだと思います。

コーチ 大日向健男

鶴舞小学校で先生が「宿小は百人たらずの学校です」と説明したら、生徒達は六年生だけで百人と思ったそうです。個々の弱さ、団結力と連携の強さを、そして八橋の木陰で流した悔や涙を、忘れないように。周囲の人達の応援と球運に感謝します。

コーチ 安藤 純

子どもたちの努力の成果がこの結果を生んだと思います。苦しい時には協力し合い、チーム全体の気持ちがひとつになり試合ができたことをうれしく思います。

また、いろいろな面で応援御協力下さった皆様に心からお礼を申し上げます。



宿スボ少父母の会長 畑山 敏

郡市の代表として小学校クラブ野球県大会を振り返って見て、何んと言つても宿地域はじめ町民各位と、又秋田宿会のあの熱意のあつた三日間の応援ぶりは、東由利宿小とあの立派な八橋球場に残って居る様な気がしてなりません。

皆様方の多大なる御尽力に厚くお礼申し上げます。

宿小学校 中津川ユキヨ

郡大会ではゆとりを持って声援できた応援の三年以上の子供達も、さすが県大会ということでやや緊張がみでしたが、朝五時半出発という時刻もものとせずに八橋球場での三日間、全校児童数七十五名の小規模校とはみえない程度の子も精一ぱいの応援をして頑張ってくれました。

ネット裏こぼれ話

(作左部衛二)

「宿小学校は小学校の宿」秋田宿会の皆さんが宿舎の竹葉荘で宿小チームの歓迎準備をし、玄関に宿小の貼り札をして待っていてくれた。十三日チームが部屋に到着したところへ、同荘宿泊の他校チームが到着し早速宿小の貼り札を発見。部屋へかけこんだところ、先客宿小チームが入っていたのでびっくり仰天。「あの、ここは僕達の部屋ですが……」と。どうやら宿小を、小学校の宿と読み違えたようだった。

「小規模校は何人まで？」
「うちの学校は全校二四六人しか居なくて。」宿小の母さん「宿小なば全校で七十五人だす。」荒川小の母さん「まんズひとどこからかって、六年生が七十五人だすべ。」